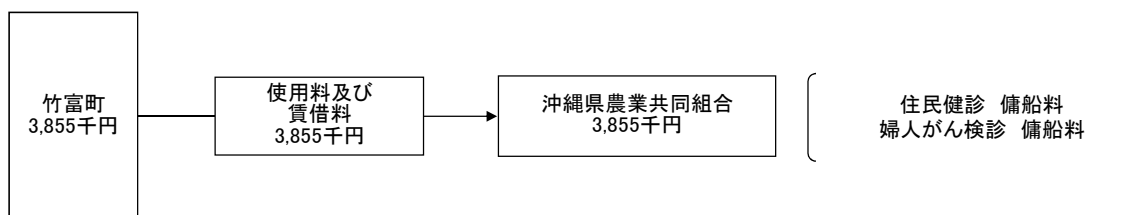


市町村名		竹富町					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	健康診査用機材搬送事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(8)-ウ	
担当部署名	健康づくり課	事業実施 (予定)年度	平成26～令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	公平で良質な医療・福祉サービスの確保 Ⅲ-9	
事業内容	集団検診(住民健診・胃がん検診・婦人がん検診)時における検診車の海上輸送運賃の負担軽減を行い、健康診査受診の促進を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	3,900	3,900	3,900	3,964	3,905
		(b)予算現額	3,696	3,797	2,468	3,984	3,856
		(c)増減額(b-a)	▲204	▲103	▲1,432	20	▲49
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		3,696	3,797	2,468	3,984	3,856
	B. 執行済額		3,696	3,797	2,468	3,984	3,855
	うち交付金充当額		2,956	3,037	1,974	3,187	3,084
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		天候不良により、一部区間変更が生じた事により不用額が生じた。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	検診機材搬送年2回実施 (検診3回×5島6地区=18件)		目標 (18件)	(12件)	(18件)	(18件)	
			実績 18件	12件	18件	18件	
		目標 ()	()	()	()		
		実績					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・住民健診・胃がん検診、婦人がん検診実施時に、石垣島より町内各島を經由し検診機材を貨物船を傭船して運搬した。 ・住民健診と胃がん集団健診は同時実施としているが、運搬回数に変動はなし。 						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (26年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
	集団検診受診者数		目標 (1645名)	()	()	()	()
			実績				
	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診対象者の受診率 60% ・胃がん検診対象者の受診率10.0% ・婦人がん(乳がん)検診対象者の受診率39% 		目標 ()	(60% 31.5%)	(60% 8.7%)	(60% 18.8%)	(60% 39%)
		実績		48.1% 38.9%	49.5% 12.1% 26.2%	53.5% 10.91% 36.11%	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・胃がん集団健診は、住民健診と同時実施したことにより、目標達成することが出来た。 ・婦人がん検診(乳がん検診)は前年度の婦人がん検診(子宮頸がん検診)より受診率は増加したものの、目標達成ができなかった。 ・特定健診受診率が53.5%と、前年度よりは増加したものの、目標が達成できなかった。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・特定健診の受診率が53.5%と目標を下回る結果となってしまったが、新型コロナウイルス感染症拡大の懸念により受診を控える住民がいたと考えている。</p>	<p>・集団健診で受診できなかった方へは個別健診の呼びかけを広く行う。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・令和3年度より胃がん検診を住民健診と同時実施しており、想定以上の受診率となったため、今後も同時実施で行う。</p> <p>・婦人がん検診については、令和5年度は子宮頸がん検診となる。乳がん検診に比べて受診希望者が少ない傾向にある。そのため、公式LINE、広報誌、地域掲示板、防災無線アナウンス等を活用した早期の周知を行う。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

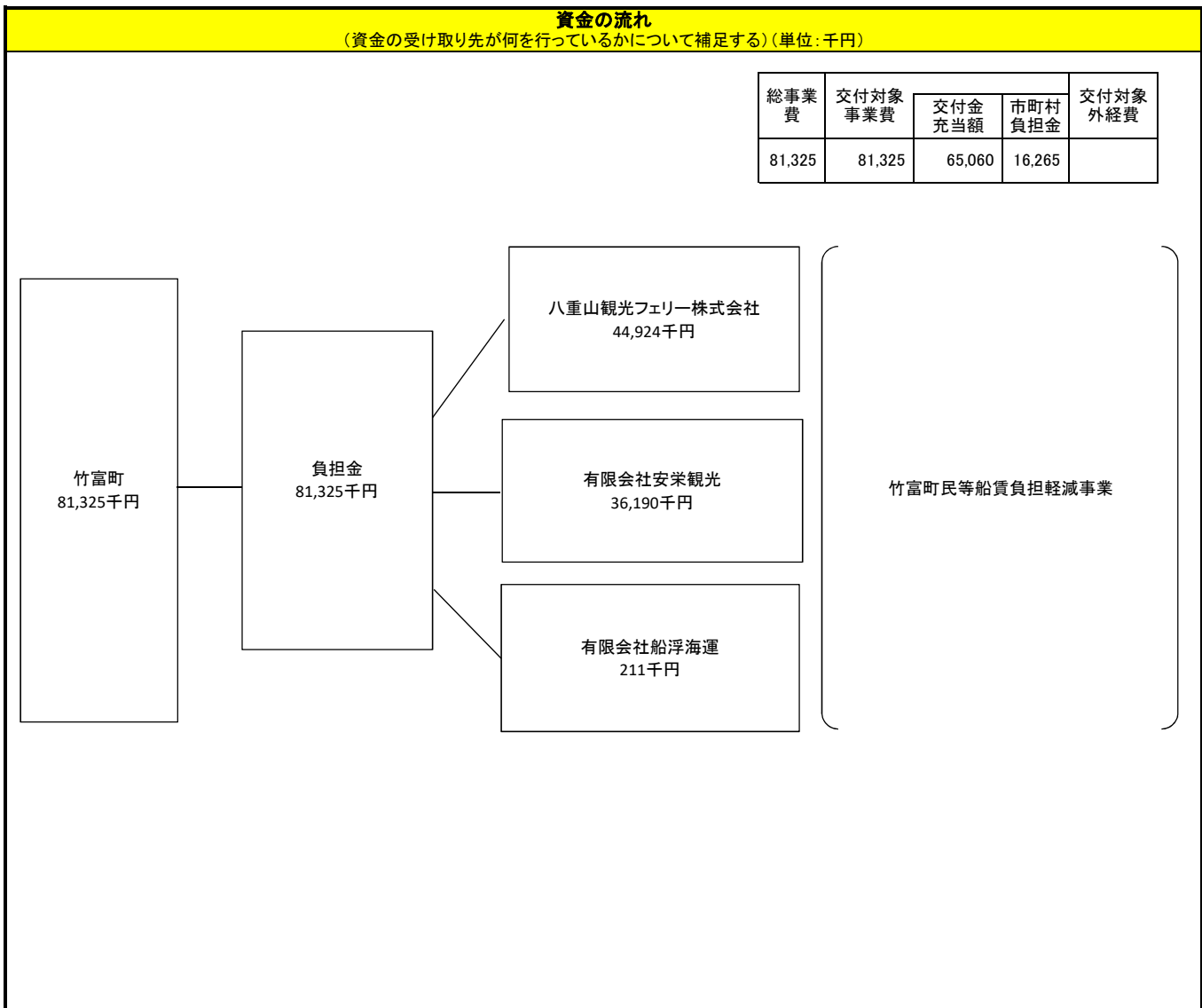
総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
3,855	3,855	3,084	771	0



資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託契約は随意契約であったが、検診車両の運搬の条件を勘案しており、選定方法については妥当であったと考える。</p> <p>○見積書による予算に促して事業を実施しており、予算規模は妥当であったと考える。</p> <p>○費目・用途は検査により確認されている。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		竹富町					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	竹富町民等船賃負担軽減事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(8)-ア	
担当部署	政策推進課	事業実施(予定)年度	平成27～令和13年度	沖繩振興基本方針 該当箇所	人流・物流のコスト低減と情報通信基盤の強化 Ⅲ-9		
事業内容	島々を結ぶ高速船の船賃を一部を負担することでJR並みの料金にし、竹富町民等の交通費に要していた負担を軽減するとともに、生活の利便性を確保する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		114,609	105,845	100,834	100,834	90,000
			114,609	86,645	71,419	75,321	80,070
			0	▲ 19,200	▲ 29,415	▲ 25,513	▲ 9,930
		B. 執行済額	89,584	86,645	71,419	75,321	81,325
		うち交付金充当額	71,667	69,316	57,135	60,256	65,060
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	78.2%	100.0%	100.0%	100.0%	101.6%
		予算の状況の説明	2月末までを交付対象とし、3月分は単費で対応している。年度途中のR4年12月に、今後の乗船者数を見込んで予算の減額を行った。				
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
	船賃の一部負担	目標	(船賃の一部負担)	(船賃の一部負担)	(船賃の一部負担)	(船賃の一部負担)	
		実績	船賃の一部負担	船賃の一部負担	船賃の一部負担	船賃の一部負担	
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	町民の生活に欠かすことのできない高速船での移動の際に係る船賃の一部を負担することにより、交通費の負担軽減及び利便性が高まった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	利用者へのアンケートで、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		98%	65.4%	85%	
		目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	利用者へのアンケート調査で、船の利便性が確保されたかを含め事業のあり方を検証した。結果、船賃負担が軽減されているとの回答が85%となり、昨年の65%を大きく上回る結果となった。昨年の留意点であったサーチャージ料金の課題を受け、燃料油価格変動調整金補助が11月から始まったことにより、船賃の燃料油価格の負担が下がったことで満足度も上がったと思われる。QRコードが薄くなり、読取エラーになるカードも役場で無料で差し替えに対応し、摩擦で薄くならないように保護シールを貼っているため、トラブルの数も減っている。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・船便が2社で同時時間帯に運航されており、不便を感じるとの声がある。 ・新型コロナウイルス感染症も落ち着きを取り戻し、観光客の数も増加しているなか、まだ便数がコロナ前に比べて少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・船便の運航時間帯・便数については、各船会社と調整し、改善できるように検討していく。
	今後の取り組み方針	
<p>更なる利便性向上のため、船便の運航時間・便数の改善に向けて船会社と調整を図り、町民の声に迅速に対応していく。</p>		



資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は、町内に航路を有する全ての船会社であり、妥当といえる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○年度途中に実績額を元に予算を見込み、不用が生じていないことから、予算規模は適正であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○料金設定をJR料金並みとしている為、町民の利便性・公平性からも妥当といえる。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については町民の船賃負担軽減に必要なものに限定されていた。

市町村名	竹富町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	祖納上村地区観光路整備事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-(ウ)		
担当部課名	まちづくり課	事業実施(予定)年度	令和4~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	持続可能で質の高い離島観光の振興 Ⅲ-9-(2)		
事業内容	西表島祖納地区の通称「上村(ウィムラ)」と呼ばれる一帯の国有地において、地域主導で活用に向けた土地利用計画を進められている。点在している昔ながらの貴重な史跡や文化財を観光資源として活用するため、歴史・文化・自然をめぐるコースの整備、砲台跡の戦争遺跡としての整備及び平和の夕日公園(仮称)の整備を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和14年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	22,528				
		(b)予算現額	22,330				
		(c)増減額(b-a)	▲198	0	0	0	0
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	22,330	0	0	0	0
	B.執行済額		22,330				
	うち交付金充当額		17,864				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		事業計画どおり執行を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	散策路整備に関する調査測量・設計業務の実施	目標	(調査測量設計業務)	()	()	()	
		実績	完了				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	道路法線形を決定するうえでこれまでの経過も含め公民館役員と協議を行い地域住民の要望に沿った形で線形を決定することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(R14年度)
	散策路整備に関する調査測量・設計業務の完了	目標	()	(設計業務)	()	()	()
		実績		設計業務			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公民館の意見を路線等へ反映させ設計業務完了した。 ・現時点西表島で地区単位での入域観光客数の統計集計は行っていないため、R5~7年度における祖納地区の入域観光客数を測定後設定していく。 					

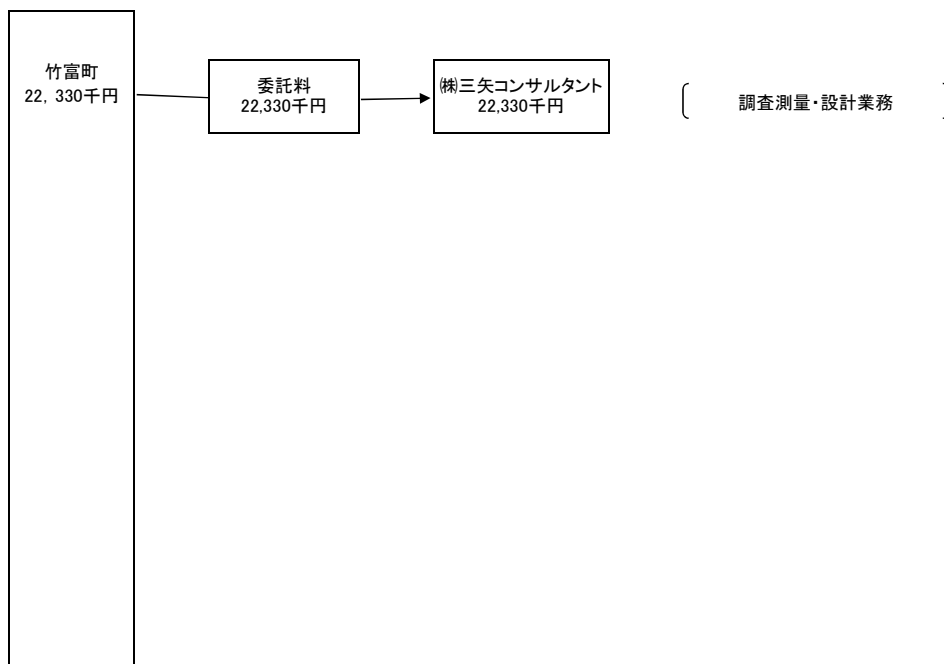
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	以前より地域主導で利活用に向けた土地利用計画が考えられており、歴史的資源としての価値を観光資源として活用することにより、新たな観光業等の振興を促進させるとともに将来的に就業の場を生み出し地区周辺の活性化を図る取組となる。令和14年度目標値達成に向け進めていく。	公民館、地区住民と共に協働で事業を進めていくことが必要。

今後の取り組み方針

整備後、1年目(R14年度)を成果目標とし、西表西部地区での入域観光客数は統計されているが、祖納地区単位の入域観光客数を把握していない為、R5~7年度に実績値を測り設定する。
 今後は公共工事整備を進めるうえで、用地取得、散策路整備工事、公園拠点広場整備を事業スケジュール間で取り組んでいく。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
22,330	22,330	17,864	4,466	

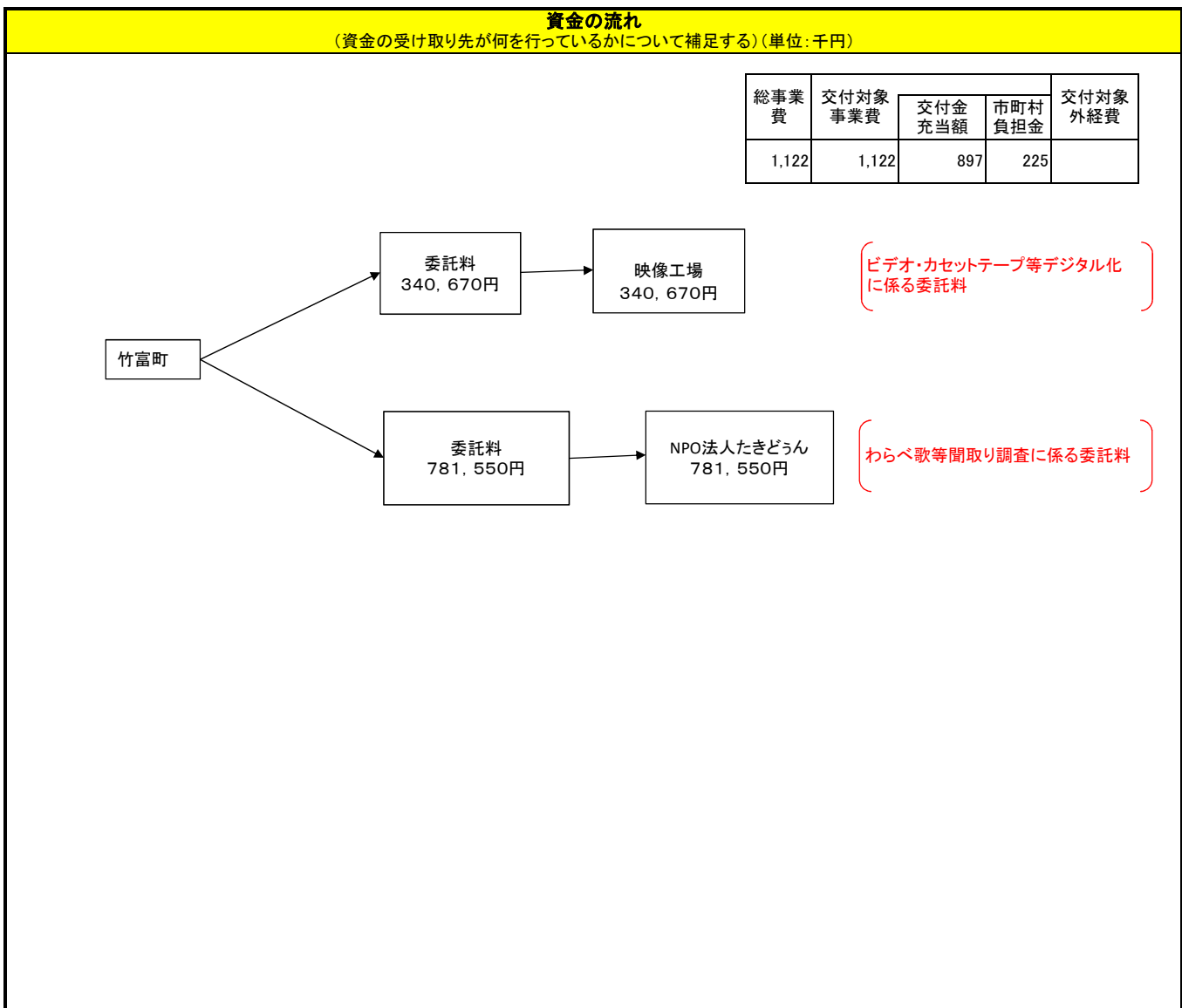


資金の流 れ、費目・ 点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		竹富町					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	竹富町観光誘客・受入対策事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-ウ	
担当部署名	自然観光課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	持続可能で質の高い離島観光の振興 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	滞在型・着地型観光および責任ある観光を推進し、観光客の満足度の確保を図るため、竹富町観光に関する情報発信や受入体制強化を行う。また、令和4年度はそれらにかかる観光振興基本計画の策定を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	47,259	49,877	31,731	28,103	52,200
		(b) 予算現額	47,259	48,006	23,862	22,412	46,388
		(c) 増減額(b-a)	0	▲ 1,871	▲ 7,869	▲ 5,691	▲ 5,812
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		47,259	48,006	23,862	22,412	46,388
	B. 執行済額		46,402	48,006	23,862	22,412	44,245
	うち交付金充当額		37,121	38,404	19,089	17,930	35,396
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		98.2%	100.0%	100.0%	100.0%	95.4%
予算の状況の説明		新型コロナウイルスの影響により、「黒島基礎調査事業」取り下げ及び当初計上していた普通旅費の減額を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	誘客宣伝活動	目標	誘客宣伝活動2回	誘客宣伝活動1回	誘客宣伝活動1回	誘客宣伝活動1回	
		実績	誘客宣伝活動4回	誘客宣伝活動0回	誘客宣伝活動1回	誘客宣伝活動1回	
	ポイントシステムの整備・充実	目標	/	会員獲得	システム運用	システム運用	
		実績	/	会員獲得	システム運用	システム運用	
	滞在型観光推進ポータルサイト構築	目標	/	サイト拡充	/	/	
		実績	/	サイト拡充	/	/	
	観光人材育成講習会	目標	/	5回実施	5回実施	3地点実施	
		実績	/	5回実施	5回実施	3地点実施	
観光メニュー創出	目標	/	/	メニュー創出	/		
	実績	/	/	メニュー創出	/		
観光振興基本計画の策定	目標	/	/	/	計画策定		
	実績	/	/	/	計画策定		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 誘客宣伝活動は、OCVBやYVBと連携し実施した。 ポイントカードシステムではカード会員や加盟店加入の勧誘を行い、新規会員の獲得を図った。また、既存会員の中から上位利用顧客へDMを送付し、アプローチを行った。 人材育成では、星空ガイドに関する知識やおもてなし、星にまつわる民話について講習会を行った。 観光振興基本計画の策定では、アンケートやヒアリングおよび検討委員会(3回)を実施し策定した。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	観光入域者を対象とした観光満足度をアンケートを実施し、満足度(「非常に満足」:60%)を達成することを指標とする。		目標	60%	60%	60%	/
			実績	/	79.7%	47.1%	72.2%
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> WEBアンケート調査を行った結果、訪れた観光客の満足度(非常に満足)は、72.2%となり、目標を達成できた。 						

市町村名	竹富町							
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-②	竹富町文化振興・観光交流拠点整備事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア				
担当部課名	竹富町教育委員会社会文化課	事業実施 (予定)年度	令和2年度 ～ 令和7年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及 Ⅲ-3-(3)			
事業内容	年長者からわらべ歌・方言等地域の無形文化財の資料収集を行い、地域住民や国内外へ情報を公開・発信し、伝統文化の伝承・発信・交流の取組みを行う							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額			12,000	18,000	82,645	
		(b) 予算現額			11,997	16,720	1,124	
		(c) 増減額(b-a)	0	0	▲3	▲1,280	▲81,521	
		(d) 繰越額						
		A. 計(b+d)	0	0	11,997	16,720	1,124	
	B. 執行済額				11,997	16,720	1,122	
	うち交付金充当額				9,597	13,376	897	
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	100.0%	99.8%	
予算の状況の説明		事業計画通り適正に執行が行えたと考える。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	R3年度の基本計画の提言に基づき、年長者から地域に残るわらべ歌等の聞き取り・記録調査及び映像資料のデジタル化を行う。	目標	()	()	()	()		
		実績				アナログ資料のデジタル化とわらべ歌等調査収集		
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	事業の実施にあたり、学識経験者・町内各団体の長等からなる展示検討委員会を1回を開催し、助言を受けながら計画どおり事業完了を行うことができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)	
	公開に向けた資料収集の完了及び、映像資料のデジタル化	目標	()	()	()	()	資料収集の完了及び映像資料のデジタル化	()
		実績					完了	
		目標	()	()	()	()	()	()
		実績						
	進捗状況説明	令和5年3月に完了したわらべ歌等聞き取り調査実施報告書については、6月頃を目途にHPに公開予定。デジタル化したデータについてもHPでの公開を予定。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	R3年度の提言に基づき、施設の整備に先駆け、古老からの聞き取り等、失われつつある貴重な文化の伝承に取組んだ。R4年度は竹富島を対象として実施したが、予想を超えるわらべ歌等が残っており、年度内で全てを聞き取ることは不可能だった。特に、わらべ歌を歌える人は1名しか残っておらず、緊急を要することがわかった。さらに、アナログ資料についても想定していた数の数倍の貴重なカセットテープ等の情報があつたため、R5年度も引き続いて竹富島の資料をデジタル化するとともに、島と教育委員会双方で保管し活用できる素地を作る。また、委員会の中で、デジタル化の進め方のほか、文化財レッドデータに関して、どのように進めていくのかについても協議した。	令和5年度は、R4年に引き続いてわらべ歌等記録の聞き取りやデジタル化、人材育成について今後の進捗に関わらずできることから取り組んでいく。
	今後の取り組み方針	
令和9年度のデジタル資料の全面公開にむけ、令和5年度は各島・各集落の聞き取りや地域遺産に関するトリアージを行い、無形の資料収集を急ぐ。		



資金の流 れ、費目・ 使途の点 検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・島内を熟知している団体やデジタル化に関する機材を所有している業者等専門的な技術を持っている業者を随意契約理由を明記した上で選定していることから、妥当である。 ・業者見積書を参考に積算を行っており、適正であった。 ・費目・使途については業務完了報告を受け検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		竹富町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-④	登録有形文化財(建造物)西棧橋整備事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ア			
担当部課名	竹富町教育委員会社会文化課	事業実施(予定)年度	R4年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	新しい生活様式/ニューノーマルにおける安全・安心で快適な観光の推進			
事業内容	国登録有形文化財でもある「西棧橋」の老朽箇所を補修し、安全に観光ができるよう整備します。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
		(a) 当初予算額					47,080	
	(b) 予算現額					19,800		
	(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	▲ 27,280		
	(d) 繰越額							
	A. 計(b+d)	0	0	0	0	19,800		
	B. 執行済額					19,800		
	うち交付金充当額					15,840		
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%		
予算の状況の説明		事業計画通り適正に執行が行えたと考える。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	竹富島を代表する登録有形文化財であり、観光名所としても人気がある「西棧橋」の整備		目標	()	()	()	()	
			実績				西棧橋先端部分の穴埋め及び橋全体に点在するひび割れの補修	
			目標	()	()	()	()	
			実績				西棧橋先端部分の穴埋め及び橋全体に点在するひび割れの補修	
達成状況説明	事業の実施にあたり、県・文化庁に確認、助言を受けながら計画どおり事業完了を行うことができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
	登録有形文化財(建造物)西棧橋の整備完了		目標	()	()	()	(整備)	()
			実績	/			完了	/
			目標	()	()	()	()	()
			実績	/				/
	進捗状況説明	事業の実施にあたり、県・文化庁に確認、助言を受けながら計画どおり事業を行うことができた。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	登録有形文化財である西棧橋の老朽化によりひび割れ、橋先端部分の陥没箇所海水が溜り、足を取られ怪我するケースが発生することがあった。補修整備することで安全面の確保が必要であった。	安全面の確保ができた。 今後は観光スポットとしてさらに観光客増が期待できる。
	今後の取り組み方針	
令和5年3月に完成した西棧橋修繕については観光シーズンに合わせてアンケート調査を実施予定。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
19,800	19,800	15,840	3,960	


```

graph LR
    A[竹富町] --> B[工事請負費  
19,800,000円]
    B --> C[株式会社 前木組  
19,800,000円]
    C --- D[西棧橋修繕に係る工事費]
  
```

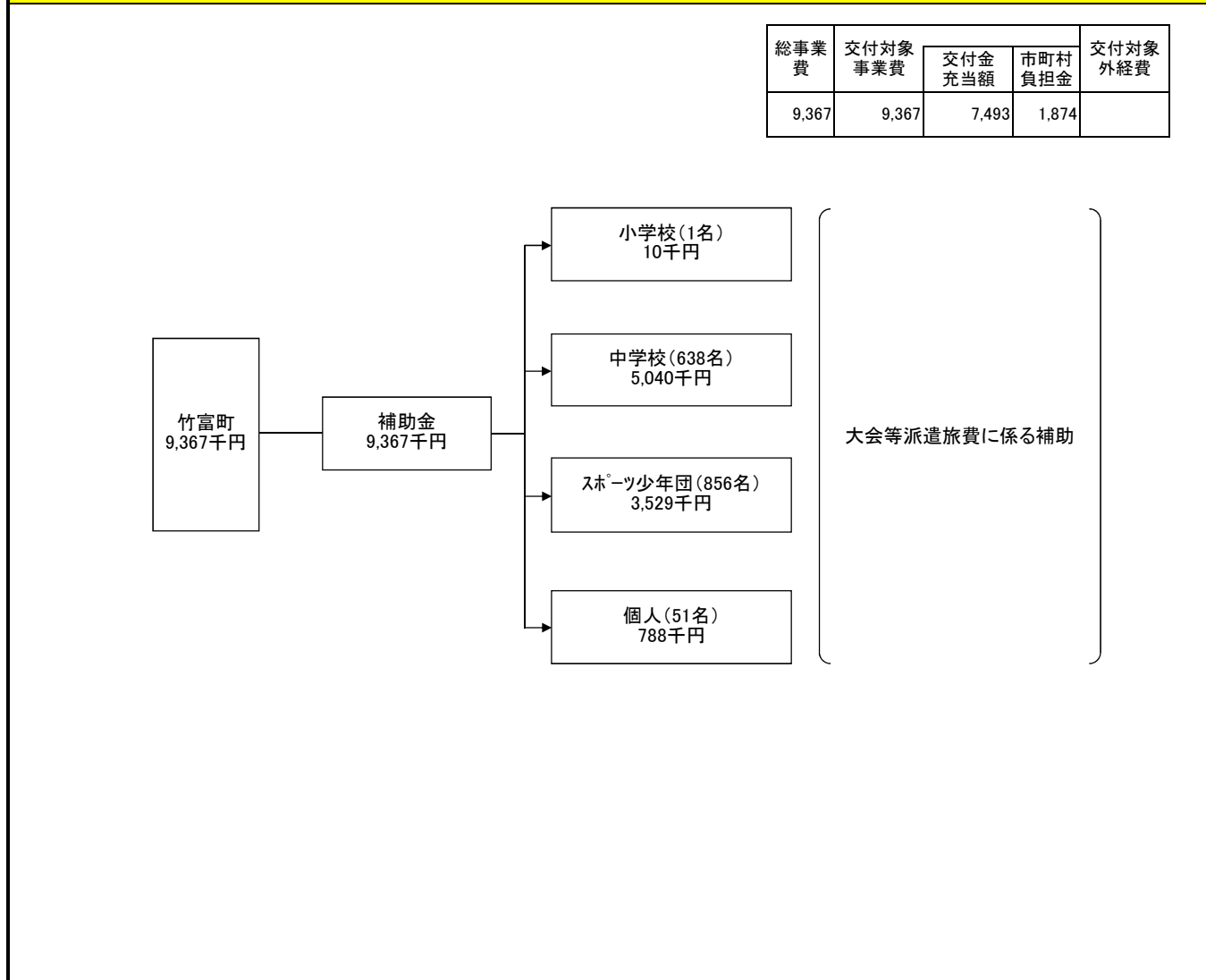
資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託契約は随意契約であったが、業務に関する実績や知識、実施体制を勘案しており、選定方法については妥当であったと考える。 ○見積書による予算に即して事業を実施しており、予算規模は適当であったと考える。 ○事業完了時に検査を実施しており、費目、用途は適正であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		竹富町					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	児童生徒派遣費補助事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(1)-ウ	
担当部課名	教育委員会 総務課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	公平な教育機会の確保と学習環境の充実 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	児童生徒のスポーツ等競技大会や文化活動コンクールへの町外派遣費を補助することにより費用負担を軽減し、島外の児童生徒との競争や交流の機会を持つことでより広い視野を持ち、竹富町内だけではできない経験とおして子どもたちの心と体の健やかな育成を促し、離島格差の是正と人材育成に寄与する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a) 当初予算額	7,074	5,950	7,197	6,657	7,000
	(b) 予算現額	6,032	4,384	2,745	6,769	10,926	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 1,042	▲ 1,566	▲ 4,452	112	3,926	
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	6,032	4,384	2,745	6,769	10,926	
	B. 執行済額	5,628	4,384	2,745	6,769	9,367	
	うち交付金充当額	4,503	3,507	2,196	5,415	7,493	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	93.3%	100.0%	100.0%	100.0%	85.7%	
予算の状況の説明	新型コロナウイルス影響により中止になった大会があり、補助金申請、事務作業の遅延により本交付金の対象にできない支出が生じたため今年度の執行率は85.7%となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	児童生徒派遣費人数(単位:名)		目標 (570)	(600)	(600)	(1,000)	
			実績 1,254	961	991	1,545	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス影響により延期や中止になった大会が多くあったが、目標人数は達成した。 ・合計人数が前年度よりも多く、小学校・中学校・スポーツ少年団・個人の申請者にもよく周知され活用されている。 ・県大会出場に選ばれた児童生徒もいて、八重山圏域外への派遣にも補助事業が活用された。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。		目標 ()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
			実績	97.8%	100%	100%	
			目標 ()	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・引率した教員や申請した保護者・児童生徒本人へのアンケート調査結果では、すべての対象者が「児童・生徒が島内ではできない経験をすることができた」と回答し、目標を達成した。 ・保護者の経済的負担の軽減、生徒自身の部活に取り組む姿勢の向上などの意見も多く寄せられており、事業の継続が希望される。 						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のための大会延期や中止があった一方で、県大会出場もあり事業費の積算が難しい。 ・学校教職員の異動やスポーツ少年団の担当者交代等があると、事務手続きなどに不慣れだったりする。 ・引率者旅費、現地交通費、練習試合など、補助対象拡大の要望がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事務手続き、必要書類とその記入方法や添付書類等分かりやすい案内を心がける。 ・事業の目的に合致するものについては補助対象として対応できるよう適宜交付要綱の見直しを検討する必要がある。 ・大会の延期や中止等の情報を把握し、事業費を積算し直して必要に応じて増減し、事業が行いやすいように有効活用していく。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・事務手続き、必要書類とその記入方法や添付書類等わかりやすい案内を引き続き心がける。また、今年度まで取りまとめて事務処理を行ってきたが、来年度よりまとめてではなく1つ1つ事務処理を行う。 ・申請者には大会の延期や中止があった場合には連絡をしていただくようお願いし、不要となった補助金交付申請は取り下げや減額をしていく。また、年度途中に各申請者にヒアリングをしていき事業費積算の見直しをしていく。 ・追加要望のある児童生徒派遣について、交付要綱の改定により補助対象とすることが可能か検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



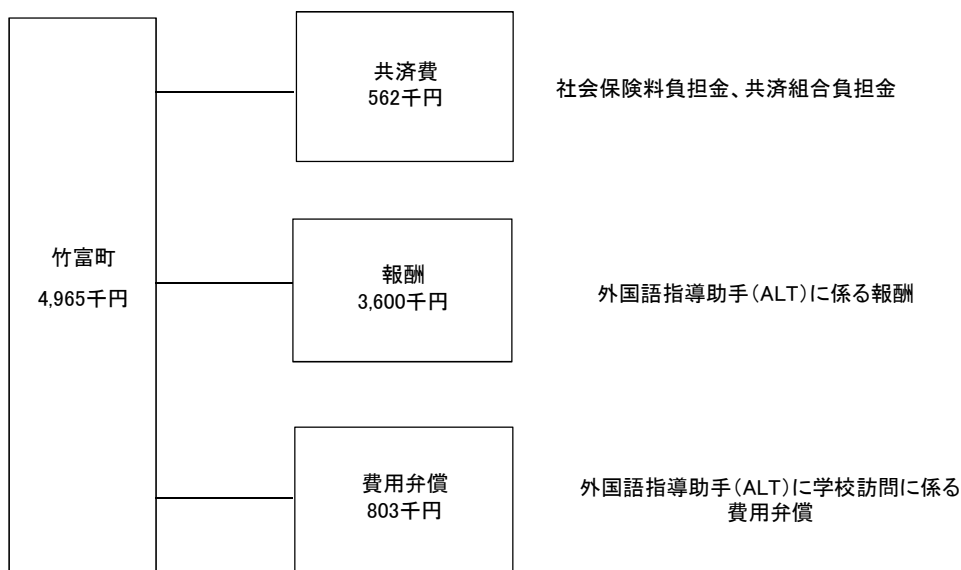
資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は交付要綱に基づく児童生徒としており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用は生じておらず、予算規模は適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者には一部自己負担を求めており、負担関係は妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については実績報告で審査しており、真に必要なものと判断した。

市町村名		竹富町					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	外国語指導助手派遣事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ア		
担当部課名	教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成27~令和8年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際感覚を身に付ける教育の推進 Ⅲ-3-1		
事業内容	生きた外国語や外国文化・生活に触れる機会を提供し、外国語への興味・関心を高める。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a) 当初予算額	4,187	4,180	4,185	4,187	4,977
	(b) 予算現額	4,187	4,018	4,186	4,187	4,977	
	(c) 増減額(b-a)	0	▲162	1	0	0	
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	4,187	4,018	4,186	4,187	4,977	
	B. 執行済額	4179	4018	4186	4,186	4,965	
	うち交付金充当額	3343	3214	3349	3,348	3,972	
	次年度繰越額	0	0				
	執行率(%) (B/A)	99.8%	100.0%	100.0%	100.0%	99.8%	
予算の状況の説明	事業計画通り執行することができた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
	英語ネイティブの外国語指導助手を町内幼稚園・小学校へ派遣	目標	(外国語指導助手の派遣)	(外国語指導助手の派遣)	(外国語指導助手の派遣)	(外国語指導助手の派遣)	
		実績	外国語指導助手の派遣	外国語指導助手の派遣 154回	外国語指導助手の派遣 136回	外国語指導助手の派遣 156回	
	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	竹富町内の小学校6校及び幼稚園3園へ外国語指導助手1名の派遣を実施し、年間で156回の派遣となった。年度の前半は新型コロナウイルス感染症の影響により学校が休校するなど指導ができない期間があったが、他の学校と訪問日を調整したことにより、年間を通して訪問回数に影響はなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	児童生徒の外国語への興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		79%	72%	99%	
	目標	()	()	()	()	()	
	実績						
進捗状況説明	アンケート調査のは以下のとおり。児童は興味・関心があると考える。 【小学生へアンケート内容と回答】 問 ALTの授業を受けて英語が楽しいと思いませんか。 答:1.とても楽しいと思う76% 2.楽しいと思う23% 合計99% 問 ALTの授業を受けて外国のことをもっと知りたいと思いませんか。 答:1.もっと知りたいと思う59% 2.知りたいと思う33% 合計92%						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	外国語指導助手(ALT)が町内の学校へ訪問する場合、船を利用するため、船舶の欠航や船に乗り遅れる等で派遣中止となる場合がある。そのため、外国語指導に集中できず、授業のパフォーマンスに影響を与えるなどの問題点がある。	ICT機器等を活用したオンライン授業を実施する等、安定した教育環境を提供していく。
今後の取り組み方針		
<p>・ALTの訪問に係る負担を軽減することにより、外国語指導に集中できる環境づくりを推進していく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
4,965	4,965	3,972	993	



資金の用途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○外国語指導助手(ALT)の選定については、面接を行い、業務に対する熱意や経験を考慮し、選考している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は生じておらず、適正な予算規模である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については、招致外国青年就業規則(JETプログラム及びJETプログラムによらない参加者)や竹富町職員の旅費支給に関する条例等に基づき支給しており、目的に即し必要なものであったと判断している。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

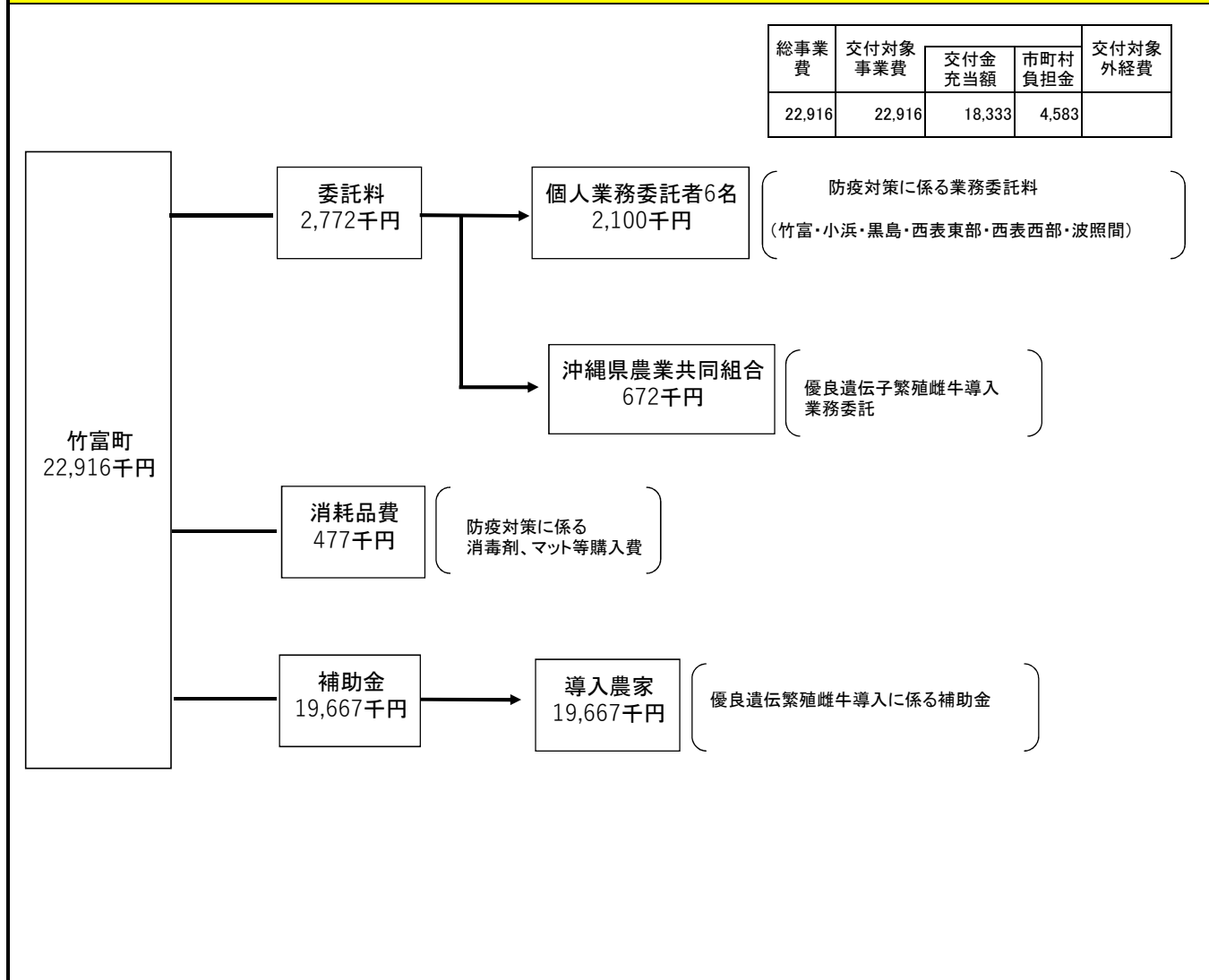
市町村名		竹富町					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	竹富町和牛生産推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-ア	
担当部課名	農林水産課	事業実施 (予定)年度	平成24年度～令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	離島ごとの環境・特性を生かした農林水産業の振興 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	優良母牛の導入支援(購入費の1/2以内上限60万円)及び口蹄疫等家畜伝染病の侵入防止対策を実施し、本町基幹産業である農業畜産の生産基盤整備、環境整備を強化することで産業の振興を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		(a) 当初予算額	58,616	58,566	58,475	58,441	52,475
	(b) 予算現額	58,616	53,090	51,846	58,441	37,756	
	(c) 増減額(b-a)	0	▲ 5,476	▲ 6,629	0	▲ 14,719	
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	58,616	53,090	51,846	58,441	37,756	
	B. 執行済額	53,448	53,090	51,846	54,869	22,916	
	うち交付金充当額	42,757	42,472	41,477	43,865	18,333	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	91.2%	100.0%	100.0%	93.9%	60.7%	
予算の状況の説明	当初計画導入頭数80頭に対し76頭の導入とほぼ計画通りの導入を行ったが、セリ価格の下落により、不用額が生じる見込みとなったことから、他事業へ流用した。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	離島港湾靴底消毒用マット設置 6ヶ所 (竹富・小浜・黒島・波照間・西表大原・上原)	目標	(消毒マット設置)	(消毒マット設置)	(消毒マット設置)	(消毒マット設置)	
		実績	消毒マット設置	消毒マット設置	消毒マット設置	消毒マット設置	
	優良母牛導入支援	目標	(導入助成)	(導入助成)	(導入助成)	(導入助成)	
		実績	導入助成	導入助成	導入助成	導入助成	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・町内港湾6箇所に防疫マットを設置したことにより、伝染病等の侵入を防止した。 ・当初導入計画80等に対して76頭の導入支援を実施し、生産基盤の拡大を図った。 						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)	基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)	
		・導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合	()	(14.5%以上)	(10.8%以上)	(1.22%以上)	()
		実績	/	9.46%	13.25%	15.43%	/
		目標	()	()	()	()	()
		実績	/				/
	進捗状況説明	令和4年度におけるセリ価格において、導入優良母牛から生まれた子牛の平均価格は592,640円(A)、そうでない牛の平均価格は513,418円(B)となり、価格差の割合は15.43%(A/B)だった。導入した母牛から生まれた子牛はそうでない子牛との価格差が出ている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 国内、県内でも鳥インフルエンザの流行がみられ、町内での家畜伝性病侵入防止対策の重要性が高まっている。 新型コロナウイルス感染症の影響による肉の消費、需要の低下並びに原油価格、物価高騰により飼料価格の上昇等から、子牛のセリ価格にも影響があり、セリ価格の下落が続いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 防疫マットの設置、消石灰の配布に加え、生産者の防疫意識向上に取り組む必要がある。 飼料価格の高止まりが継続する可能性が高い為、自給飼料の増大や生産コスト削減等、経営への影響を最小限に抑える取り組みを強化する必要がある。

今後の取り組み方針

・家畜伝性病侵入防止対策として各島への防疫マット設置を継続するとともに、家畜保健衛生所等と連携して伝染病等の侵入防止を目的とした講習会を実施するなど、各生産農場での防疫対策の強化に取り組む。
 ・生産コスト削減に向けて自給飼料率を上げるため、各関係機関と連携し、生産者に対する技術指導等を強化していく。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託業者は各地区肉用牛生産組合で勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・子牛価格の高騰を考慮して予算を確保したところ、予想を下回る規模となったため、流用により適正な規模へ見直しを行った。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・受益者は導入費用の2分の1を負担しており、妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・使途については生産段階で検査を実施しており、適正だと判断した。

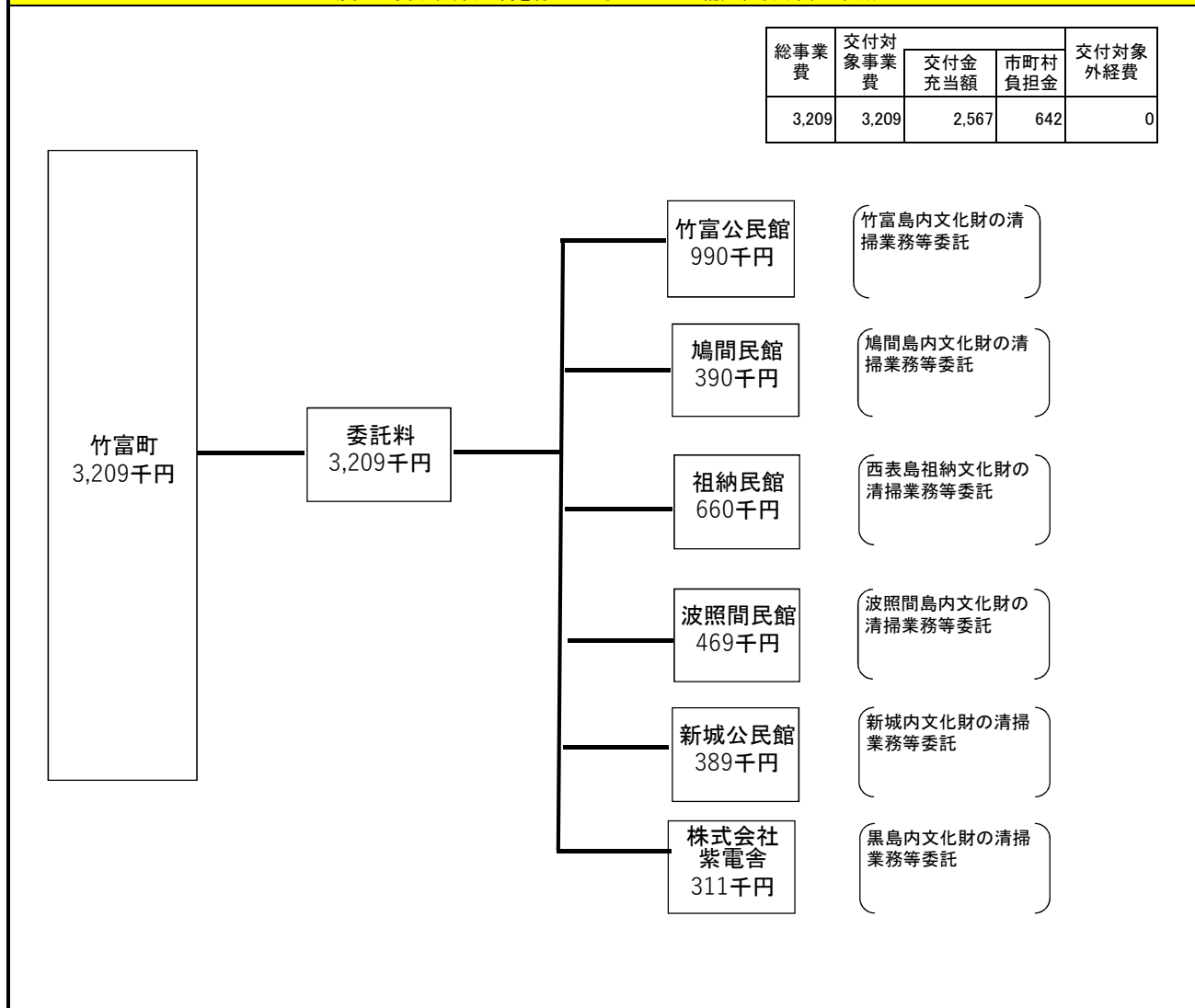
市町村名		竹富町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-②	文化財美化保全事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-イ		
	担当部課名	教育委員会社会文化課	事業実施(予定)年度	平成24年度 ～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり Ⅲ-3-(3)		
事業内容	本町の有する多くの文化財美化保全を推進し、本町特有の歴史文化や景観を恒久的に維持し、歴史文化財資料及び観光資源として活用し地域の文化振興を図る。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
		(a) 当初予算額	2,800	3,190	3,260	3,260	3,260	
	(b) 予算現額	2,800	3,190	2,838	3,260	3,260		
	(c) 増減額(b-a)	0	0	▲422	0	0		
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0		
	A. 計(b+d)	2,800	3,190	2,838	3,260	3,260		
	B. 執行済額	2788	3189	2838	2,892	3,209		
	うち交付金充当額	2230	2551	2270	2,314	2,567		
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)	99.6%	100.0%	100.0%	88.7%	98.4%		
予算の状況の説明	令和4年度も引き続きコロナ禍により公民館役員や作業員が減ったことにより、不用額が生じる見込みとなったことから、他事業へ流用した。							
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	・委託先の公民館は年間3回以上は美化清掃を実施する。 ・黒島地区の文化財に関しては年間2回実施する。		目標	(23箇所)	(23箇所)	(26箇所)	(27箇所)	
			実績	26箇所	26箇所	26箇所	27箇所	
			目標	()	()	()	()	
		実績						
達成状況説明	竹富地区(10箇所・年24回、作業員9名)、鳩間地区(3箇所、年16回、作業員33名)、新城地区(4箇所、8回、作業員10名)、祖納地区(6箇所、4回、作業員22名)、波照間地区(3箇所、16回、作業員13名)、黒島地区(1箇所、年2回、高所作業のため専門業者へ委託)において各指定文化財及び指定文化財候補の美化保全清掃を当初の計画どおり実施することができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
	本事業について、観光客や地域住民へのアンケート調査を実施し、文化財の保存が図られるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業の在り方を検証する。		目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
			実績		新型コロナウイルス感染症のため実施できず	55%	75%	
			目標	()	()	()	()	()
			実績					
進捗状況説明	コロナウイルス感染症の影響で、年度当初は人員確保することが出来ずに、保護、保全等を十分に行う事ができなかったが1月頃から徐々に収束に向かいつつあり作業員を確保することができた。また、台風や豪雨などで各島へ出張立会いができず、文化財保護の清掃に対して助言、指導が出来なかった。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・コロナ禍において作業員の確保が難しい中で作業を行ったきたが、清掃等が不足しており目標が達成できなかった要因と考える。</p> <p>・webでのアンケートだけではなく、対面式や直接、文化財がある清掃現場でアンケートを行うなどで結果が変わることもある。</p>	<p>竹富町教育委員会ホームページと広報誌を活用し文化財を周知することができた。広報誌については毎月、町内の文化財紹介を掲載しているので継続する。また、各学校にも声掛けをし、児童生徒への興味関心を高めていく。各公民館長との連絡や調整を密にし、作業に入る場合は担当職員も一緒に現場に入り、文化財の保全方法や石積み、遺構などの清掃方法など一緒に行う。</p>

今後の取り組み方針

各公民館と連絡を密にし、作業実施する際は担当職員も現場確認のため入るようにする。貴重な国指定、県指定、町指定の文化財などの石積み、遺構、史跡等において保全方法を地元公民館と考え、柔軟に対応していく必要がある。また、清掃実施していない地区にも文化財があるので、各島均衡に保全、清掃が実施できるよう見直しをしていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○業務に関する実績や実施体制を勘案しており、算定方法については妥当であったと考える。</p> <p>○見積書による予算に即して事業を実施しており、予算規模は適当であったと考える。</p> <p>○事業完了時に検査を実施しており、費目、用途は適正であったと考える。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-③	竹富町ペット適正飼養・傷病鳥獣保護推進事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(2)-ア			
担当部署名	自然観光課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	自然環境・生物多様性の保全・ 継承 Ⅲ-10-(1)		
事業内容	本事業は、国の特別天然記念物であり世界自然遺産登録地・西表島を代表する野生生物であるイリオモテヤマネコの保護を目的に、島内のペットの適正飼養の推進と併せて傷病鳥獣の保護救命の体制を構築し、西表島の自然生態系や生物多様性の保全推進を図るものである。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	(a) 当初予算額	8,574	12,173	10,953	12,919	9,210	
	(b) 予算現額	8,574	12,397	10,952	12,918	9,210	
	(c) 増減額(b-a)	0	224	▲1	▲1	0	
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	8,574	12,397	10,952	12,918	9,210	
	B. 執行済額	8,574	12,397	10,952	12,918	9,207	
	うち交付金充当額	6,859	9,917	8,762	10,334	7,365	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	当初の事業計画の予算額のとおり執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	ペット適正飼養推進会議の開催	目標	(会議 1回開催)	(会議 1回開催)	(会議 1回開催)	(会議 1回開催)	
		実績	会議 1回開催	会議 1回開催	会議 1回開催	会議 1回開催	
	逸失ペットや傷病鳥獣の保護・収容	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	保護収容個体及び新規登録個体のウイルス検査、傷病鳥獣への治療措置の実施	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	保護収容個体及び新規登録個体のウイルス検査、傷病鳥獣への治療措置の実施	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
猫適正飼養の普及推進	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)		
	実績	実施	実施	実施	実施		
ペット適正飼育の普及推進	目標	(講演会 4回開催)	(講演会 4回開催)	(パンフレット 作製)	(パンフレット、 講習会、SNS) 発信等		
	実績	講演会 4回開催	代替手段で実施	パンフレット作製	新聞、ポスター等の作成、掲示		
達成状況説明	・住民からの情報をもとにノラネコの保護収容を試みた。 ・保護収容した個体は、飼養者を確認し、猫を飼養者に返却した。 ・猫適正飼養の普及推進では、登録されている猫の飼養者に対して、本年度よりウイルス検査とワクチンの接種を定期的 に実施していただく事を呼び掛けた他、引き続き完全屋内飼養に関する指導助言をおこなっている。 ・ペット適正飼育に係る普及啓発では、月替わりで新聞を作成し、島内各地の掲示板に掲示したほか、猫の持ち込みに港 ターミナルにポスター及びびマットを設置した。 ・ペット適正飼養推進会議を開催し、関係機関で今後の対策について検討した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)	基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
	逸失ペット保護収容個体数4頭以内(保護頭数)	目標	()	(8頭以内)	(11頭以内)	(4頭以内)	()
		実績		1頭	3頭	1頭	
	飼い猫のその年におけるウイルス検査及びワクチン接種率30%以上(検査及びワクチン接種率)	目標	()	()	()	(30%以上)	()
実績					49.6%		
進捗状況説明	・逸失ペットの保護収容数はここ数年少ない頭数を継続させており、0頭に近づきつつあるが、完全な0頭を目指す必要がある。本年度保護収容された猫は1頭のみで、予め飼い主から不明になったという連絡があったため、円滑に返却する事ができた。その他、事業期間の後に1頭の飼養者不明猫を保護収容している。 ・飼い猫のウイルス検査やワクチン接種は、本年度では目標を達成しているものの、対応いただいたのは本事業に理解のある飼養者の方で、一方では理解や関心の希薄な飼養者も残されている。						

